

ウメモト インフォメーション

全国有力新聞最新部数表

令和2年9月度 ABC部数

新聞社名	販売部数	新聞社名	販売部数	新聞社名	販売部数	新聞社名	販売部数
全読売(合計)	7,365,329	全日経(合計)	2,066,473	上毛新聞	281,030	大阪日日新聞	5,495
〃(東京)	4,491,178	〃(東京)	1,218,383	東京新聞	412,979	神戸新聞	445,300
〃(大阪)	1,892,468	〃(大阪)	528,435	朝日小学生新聞	75,947	日本海新聞	151,761
〃(西部)	582,008	〃(西部)	133,627	朝日中高生新聞	44,422	山陰中央新報	180,020
〃(北海道)	175,002	〃(名古屋)	149,797	読売KODOMO新聞	196,927	山陽新聞	318,310
〃(北陸)	81,154	〃(北海道)	36,231	読売中高生新聞	88,824	中国新聞	554,778
〃(中部)	143,519	全産経(合計)	1,249,963	読売キ	71,399	中国新聞SELECT	25,088
全朝日(合計)	4,974,084	〃(東京)	520,689	日本農業	307,765	徳島新聞	191,448
〃(東京)	2,839,422	〃(大阪)	729,274	神奈川新聞	154,281	四国新聞	168,233
〃(大阪)	1,337,366	北海道新聞	904,062	新潟日報	397,609	愛媛新聞	191,510
〃(西部)	423,680	一リ一東北	91,416	北日本新聞	215,394	愛媛新聞	154,709
〃(名古屋)	274,006	東奥日報	203,239	北陸中日新聞	83,834	西日本新聞	492,627
〃(北海道)	99,610	岩手日報	178,693	北国新聞	331,275	佐賀新聞	121,885
全毎日(合計)	2,070,500	河北新報	408,336	福井新聞	30,602	長崎新聞	167,533
〃(東京)	793,312	秋田魁新報	208,128	山梨日日新聞	178,190	熊本日日新聞	255,672
〃(大阪)	839,563	山形新聞	190,638	信濃毎日新聞	437,262	大分合同新聞	171,730
〃(西部)	345,703	福島民報	224,050	静岡新聞	145,250	宮崎日日新聞	188,565
〃(中部)	70,768	福島民友	163,244	中京新聞	554,285	南日本新聞	259,303
〃(北海道)	21,154	茨城新聞	122,004	京都新聞	2,083,690	The Japan News	12,196
		下野新聞	284,053			道新スポーツ	33,163

販売部数と前年・前月部数の比較

社名	R2-9	R1-9	前年比	前月比
全読売	7,365,329	7,945,755	△ 880,426	△ 58,207
東京	4,491,178	4,823,736	△ 332,558	△ 28,754
大阪	1,892,468	2,076,093	△ 183,625	△ 8,162
西部	582,008	620,643	△ 38,635	△ 15,773
北海道	175,002	186,333	△ 11,331	△ 704
北陸	81,154	85,537	△ 4,383	△ 1,104
中部	143,519	153,413	△ 9,894	△ 3,710
全朝日	4,974,084	5,405,585	△ 431,501	△ 17,558
東京	2,839,422	3,045,158	△ 205,736	△ 8,189
大阪	1,337,366	1,500,086	△ 162,700	△ 5,874
西部	423,680	464,027	△ 40,347	△ 3,075
名古屋	274,006	291,387	△ 17,381	△ 217
北海道	99,610	105,247	△ 69,755	△ 75,189
全毎日	2,070,500	2,318,951	△ 248,451	△ 27,343
東京	793,312	909,649	△ 116,337	△ 4,388
大阪	839,563	907,271	△ 67,708	△ 19,408
西部	345,703	389,907	△ 44,204	△ 2,918
中部	70,768	83,830	△ 13,062	△ 546
北海道	21,154	23,294	△ 7,140	△ 85
全日経	2,066,473	2,293,777	△ 227,304	△ 500
東京	1,218,383	1,366,660	△ 148,277	△ 5,908
大阪	528,435	579,593	△ 51,158	△ 5,367
西部	133,627	149,501	△ 15,874	△ 58
名古屋	149,797	163,310	△ 10,513	△ 57
北海道	36,231	37,713	△ 1,482	△ 58

夕刊部数と前年・前月部数の比較

社名	R2-9	R1-9	前年比	前月比
全読売	1,856,211	2,062,197	△ 205,986	△ 10,431
東京	1,127,907	1,237,077	△ 109,170	△ 6,959
大阪	660,571	750,841	△ 90,270	△ 1,426
西部	31,051	36,904	△ 5,853	△ 2,028
北海道	34,254	34,845	△ 391	△ 4
北陸	-	2,730	△ 302	△ 14
中部	-	-	-	-
全朝日	1,488,294	1,654,276	△ 165,982	△ 8,378
東京	865,180	955,483	△ 90,303	△ 5,772
大阪	520,737	577,145	△ 56,408	△ 1,023
西部	31,114	38,944	△ 7,830	△ 189
名古屋	60,889	59,294	△ 8,395	△ 205
北海道	20,364	23,410	△ 3,046	△ 1,189
全毎日	636,347	673,858	△ 37,511	△ 2,943
東京	203,393	221,357	△ 18,024	△ 1,068
大阪	376,368	391,101	△ 14,713	△ 1,772
西部	38,165	39,942	△ 1,777	△ 4
中部	18,461	21,468	△ 2,997	△ 99
北海道	-	-	-	-
全日経	1,044,628	1,118,416	△ 73,787	△ 2,226
東京	647,078	684,424	△ 37,346	△ 895
大阪	289,128	311,852	△ 22,434	△ 451
西部	28,473	33,728	△ 5,255	△ 28
名古屋	79,950	88,702	△ 8,752	△ 852
北海道	-	-	-	-

即売部数と前年・前月部数の比較

社名	R2-9	R1-9	前年比	前月比
全読売	87,706	163,628	△ 75,922	△ 1,895
東京	66,889	139,321	△ 72,422	△ 1,975
大阪	612	951	△ 339	△ 76
西部	4,260	4,302	△ 42	△ 177
北海道	5,719	4,823	△ 892	△ 19
北陸	25	35	△ 12	△ 2
中部	10,194	14,193	△ 3,999	△ 3,578
全朝日	7,204	9,873	△ 2,666	△ 1,539
東京	5,613	7,562	△ 1,949	△ 695
大阪	278	1,028	△ 750	△ 646
西部	312	326	△ 14	△ 52
名古屋	60	91	△ 31	△ 6
北海道	941	863	△ 78	△ 130
全毎日	24,085	23,647	△ 438	△ 815
東京	23,079	22,408	△ 671	△ 747
大阪	495	729	△ 234	△ 112
西部	33	49	△ 16	△ 1
中部	478	451	△ 17	△ 43
北海道	45,955	59,488	△ 13,513	△ 528
全日経	36,534	44,560	△ 8,026	△ 242
東京	7,719	12,005	△ 4,282	△ 260
大阪	489	468	△ 20	△ 0
西部	1,058	2,274	△ 1,219	△ 23
名古屋	65	61	△ 4	△ 26
北海道	-	-	-	-

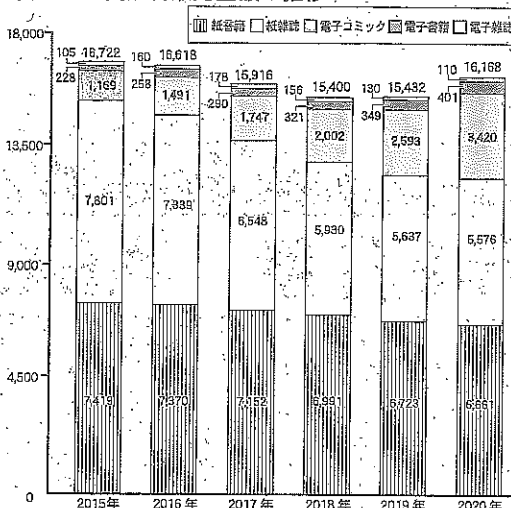
2021.2.5
新聞展覧
概行

ウメト インフォメーション

引用：日経／化学工業／燃料油脂／新聞展望／他()

2021年2月5日 担当者：梅野

紙・電子出版物販売金額の推移 (単位：億円)



紙・電子は4.8%増の1兆6168億円

裏ごもり、鬼滅追い風に2年連続増

全書出版協会、出版料
学研究所、出版料
長びきり、2020年
年の出版料、販売額
1.0%減の1兆6168億
1.0%減の1兆6168億
紙と電子を合算し
出版市場規模推定販
売金額は前年比4.8
%増の1兆6168億
円だった。紙は1.0%減
マナブ出版が改善
したことが加え、電子が
28.0%増で飛躍し、2年
連続で前年を上回っ
た。新型コロナウイルス
の影響による読者の離
れ、拡大前の鬼滅のブ
ームが追い風となっ
た。

紙は1兆6168億円の1.0%減、紙ベースは1兆6168億円の1.0%減、電子コミックは290億円の1.0%減、電子書籍は5,930億円の1.0%減、電子雑誌は743億円の1.0%減、合計は18,618億円の1.0%減だった。紙は1.0%減、紙ベースは1.0%減、電子コミックは290億円の1.0%減、電子書籍は5,930億円の1.0%減、電子雑誌は743億円の1.0%減、合計は18,618億円の1.0%減だった。

紙の出版物の推定販売金額は前年比1.0%減の1兆6168億円だった。紙は1.0%減、紙ベースは1.0%減、電子コミックは290億円の1.0%減、電子書籍は5,930億円の1.0%減、電子雑誌は743億円の1.0%減、合計は18,618億円の1.0%減だった。

紙の出版物の推定販売金額は前年比1.0%減の1兆6168億円だった。紙は1.0%減、紙ベースは1.0%減、電子コミックは290億円の1.0%減、電子書籍は5,930億円の1.0%減、電子雑誌は743億円の1.0%減、合計は18,618億円の1.0%減だった。

紙の出版物の推定販売金額は前年比1.0%減の1兆6168億円だった。紙は1.0%減、紙ベースは1.0%減、電子コミックは290億円の1.0%減、電子書籍は5,930億円の1.0%減、電子雑誌は743億円の1.0%減、合計は18,618億円の1.0%減だった。

紙の出版物の推定販売金額は前年比1.0%減の1兆6168億円だった。紙は1.0%減、紙ベースは1.0%減、電子コミックは290億円の1.0%減、電子書籍は5,930億円の1.0%減、電子雑誌は743億円の1.0%減、合計は18,618億円の1.0%減だった。

紙の出版物の推定販売金額は前年比1.0%減の1兆6168億円だった。紙は1.0%減、紙ベースは1.0%減、電子コミックは290億円の1.0%減、電子書籍は5,930億円の1.0%減、電子雑誌は743億円の1.0%減、合計は18,618億円の1.0%減だった。

紙の出版物の推定販売金額は前年比1.0%減の1兆6168億円だった。紙は1.0%減、紙ベースは1.0%減、電子コミックは290億円の1.0%減、電子書籍は5,930億円の1.0%減、電子雑誌は743億円の1.0%減、合計は18,618億円の1.0%減だった。

紙の出版物の推定販売金額は前年比1.0%減の1兆6168億円だった。紙は1.0%減、紙ベースは1.0%減、電子コミックは290億円の1.0%減、電子書籍は5,930億円の1.0%減、電子雑誌は743億円の1.0%減、合計は18,618億円の1.0%減だった。

紙の出版物の推定販売金額は前年比1.0%減の1兆6168億円だった。紙は1.0%減、紙ベースは1.0%減、電子コミックは290億円の1.0%減、電子書籍は5,930億円の1.0%減、電子雑誌は743億円の1.0%減、合計は18,618億円の1.0%減だった。

紙の出版物の推定販売金額は前年比1.0%減の1兆6168億円だった。紙は1.0%減、紙ベースは1.0%減、電子コミックは290億円の1.0%減、電子書籍は5,930億円の1.0%減、電子雑誌は743億円の1.0%減、合計は18,618億円の1.0%減だった。

紙の出版物の推定販売金額は前年比1.0%減の1兆6168億円だった。紙は1.0%減、紙ベースは1.0%減、電子コミックは290億円の1.0%減、電子書籍は5,930億円の1.0%減、電子雑誌は743億円の1.0%減、合計は18,618億円の1.0%減だった。

紙の出版物の推定販売金額は前年比1.0%減の1兆6168億円だった。紙は1.0%減、紙ベースは1.0%減、電子コミックは290億円の1.0%減、電子書籍は5,930億円の1.0%減、電子雑誌は743億円の1.0%減、合計は18,618億円の1.0%減だった。

紙の出版物の推定販売金額は前年比1.0%減の1兆6168億円だった。紙は1.0%減、紙ベースは1.0%減、電子コミックは290億円の1.0%減、電子書籍は5,930億円の1.0%減、電子雑誌は743億円の1.0%減、合計は18,618億円の1.0%減だった。

電子出版市場は大幅増

4千億円台を目前に

2020年における電子出版市場は、紙の出版物の推定販売金額は前年比1.0%減の1兆6168億円だった。紙は1.0%減、紙ベースは1.0%減、電子コミックは290億円の1.0%減、電子書籍は5,930億円の1.0%減、電子雑誌は743億円の1.0%減、合計は18,618億円の1.0%減だった。

紙の出版物の推定販売金額は前年比1.0%減の1兆6168億円だった。紙は1.0%減、紙ベースは1.0%減、電子コミックは290億円の1.0%減、電子書籍は5,930億円の1.0%減、電子雑誌は743億円の1.0%減、合計は18,618億円の1.0%減だった。

紙の出版物の推定販売金額は前年比1.0%減の1兆6168億円だった。紙は1.0%減、紙ベースは1.0%減、電子コミックは290億円の1.0%減、電子書籍は5,930億円の1.0%減、電子雑誌は743億円の1.0%減、合計は18,618億円の1.0%減だった。

紙の出版物の推定販売金額は前年比1.0%減の1兆6168億円だった。紙は1.0%減、紙ベースは1.0%減、電子コミックは290億円の1.0%減、電子書籍は5,930億円の1.0%減、電子雑誌は743億円の1.0%減、合計は18,618億円の1.0%減だった。

紙の出版物の推定販売金額は前年比1.0%減の1兆6168億円だった。紙は1.0%減、紙ベースは1.0%減、電子コミックは290億円の1.0%減、電子書籍は5,930億円の1.0%減、電子雑誌は743億円の1.0%減、合計は18,618億円の1.0%減だった。

紙の出版物の推定販売金額は前年比1.0%減の1兆6168億円だった。紙は1.0%減、紙ベースは1.0%減、電子コミックは290億円の1.0%減、電子書籍は5,930億円の1.0%減、電子雑誌は743億円の1.0%減、合計は18,618億円の1.0%減だった。

紙の出版物の推定販売金額は前年比1.0%減の1兆6168億円だった。紙は1.0%減、紙ベースは1.0%減、電子コミックは290億円の1.0%減、電子書籍は5,930億円の1.0%減、電子雑誌は743億円の1.0%減、合計は18,618億円の1.0%減だった。

紙の出版物の推定販売金額は前年比1.0%減の1兆6168億円だった。紙は1.0%減、紙ベースは1.0%減、電子コミックは290億円の1.0%減、電子書籍は5,930億円の1.0%減、電子雑誌は743億円の1.0%減、合計は18,618億円の1.0%減だった。

紙の出版物の推定販売金額は前年比1.0%減の1兆6168億円だった。紙は1.0%減、紙ベースは1.0%減、電子コミックは290億円の1.0%減、電子書籍は5,930億円の1.0%減、電子雑誌は743億円の1.0%減、合計は18,618億円の1.0%減だった。

紙の出版物の推定販売金額は前年比1.0%減の1兆6168億円だった。紙は1.0%減、紙ベースは1.0%減、電子コミックは290億円の1.0%減、電子書籍は5,930億円の1.0%減、電子雑誌は743億円の1.0%減、合計は18,618億円の1.0%減だった。

紙の出版物の推定販売金額は前年比1.0%減の1兆6168億円だった。紙は1.0%減、紙ベースは1.0%減、電子コミックは290億円の1.0%減、電子書籍は5,930億円の1.0%減、電子雑誌は743億円の1.0%減、合計は18,618億円の1.0%減だった。



OPECプラス、生産枠据え置き 「21年の回復を楽観視」

〔ロンドン 3日 ロイター〕 - 石油輸出国機構（OPEC）にロシアなど非加盟産油国を加えた「OPECプラス」は3日、現行の生産枠の据え置きを決定した。

合同閣僚監視委員会（JMMC）はこの日オンライン会議を開催。会議後の声明で、新型コロナウイルスワクチンの世界的かつ漸進的な普及が、年内の世界経済や石油需要を押し上げる有望な要素とした上で「2021年の回復を楽観視している」と表明。同時に、今後数カ月間は経済見通しや石油需要を巡って不安定な状態が続く見込みとした。

減産に伴う削減量は昨年4月以降で21億バレルに達したとした。政策変更に関する言及はなかった。

OPECプラスは先月、大半の国が産油量の維持を決定。一方、サウジアラビアは2月と3月の産油量を追加で日量100万バレル自主削減するほか、ロシアとカザフスタンが小幅増産を行うとした。

調査会社エナジー・アスペクツの共同創設者、アムリタ・セン氏は「在庫が急速に減少する中で、市場はワクチンの円滑な展開を織り込んでいる。ただ、それは時期尚早かもしれない」とした。

米石油メジャー 苦境鮮明 エクソン前期、最終赤字2.3兆円 (1/2)

シェブロンも4年ぶり転落 統合論再び浮上も

米石油業界の苦境が鮮明だ。米石油メジャーのエクソンモービルが2日発表した2020年12月期決算は最終損益が224億ドル（約2兆3500億円）の赤字となった。新型コロナウイルス危機に加え、環境規制を強化するバイデン政権の発足など逆風下で、同業米シェブロンとの統合交渉も浮上。経営環境の悪化が大再編の引き金になる可能性がある。

2日の決算会見でシェブロンとの統合交渉について聞かれたエクソンのダレン・ウッズ最高経営責任者（CEO）は、「臆測の報道にはコメントしないが、相乗効果のあるM&A（合併・買収）の相手は常に探している」と含みをもたせた。

米紙ウォール・ストリート・ジャーナルが1月31日、両社のCEOが20年に経営統合について協議したと報じ、ウッズ氏の発言に注目が集まっていた。

関係者によると、統合交渉は合意に至らず、現時点で協議は止まっているという。だが、かねて「自力の開発拡大で高い成長力を維持できる」と主張し、M&Aに慎重とみられてきたウッズ氏の発言に変化を感じ取った関係者は多い。

シェブロンのマイケル・ワースCEOは、20年にシェール大手の米ノーブル・エナジーを買収するなどM&A推進派として知られる。

そのシェブロンも20年12月期決算で最終損益が55億ドルの赤字と、通期として4年ぶりの最終赤字に転落。新型コロナ危機で巨額赤字に陥った両社の統合構想が現実味を帯びる。

両社は米南部のシェール鉱区やメキシコ湾の資源開発を競ってきたが、足元では環境対策という共通の課題を抱える。環境保護を重視するバイデン大統領は1月、連邦政府の管理地や海洋での石油・天然ガスの開発を規制する大統領令に署名した。影響は米国の石油・天然ガス生産の2割弱に及び、トランプ政権下で4割近く増加した生産拡大にブレーキがかかる。

英蘭ロイヤル・ダッチ・シェルや英BPなど欧州メジャーは新型コロナ危機などを契機に事業モデルを転換し、化石燃料の開発抑制と再生可能エネルギーへの投資拡大を表明。両社は50年までに事業活動による温暖化ガス排出量を実質ゼロにする「カーボンニュートラル」を目指すと宣言した。

1998年に米アモコと合併し米国事業の比率が高いBPは、30年までに化石燃料の開発を4割減らす方針も打ち出している。

米石油メジャー 苦境鮮明 エクソン前期、最終赤字2.3兆円 (2/2)

シェブロンも4年ぶり転落 統合論再び浮上も

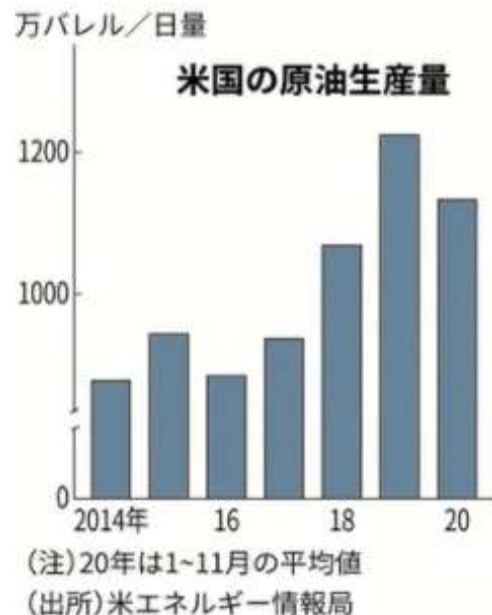
こうした欧州勢の動きに対し、米メジャーは対応の遅れが目立つ。

「16年と比べて温暖化ガス排出量を6%減らした」「過去20年で100億ドル以上を低炭素技術に投資した」――。エクソンのウッズCEOは2日の会見で自社の環境対策を並べ挙げたが、バイデン政権や投資家が求めるカーボンニュートラルの目標は出てこなかった。エクソンに比べて環境対策が進んでいるとされるシェブロンも、排出量ゼロの計画は示せていない。

世界最大の資産運用会社、米ブラックロックは1月、全ての投資先に対しカーボンニュートラルのための事業戦略を示すよう求めた。エクソンとシェブロンにも化石燃料に依存した事業モデルの見直し圧力が強まるなか、統合構想が再浮上する可能性もある。

エクソンとシェブロンは共に、米国の独禁法に基づいて1911年に解体されたスタンダード・オイルが母体だ。その後に再編を繰り返して世界大手となった両社の統合はスタンダード・オイルの再現といえる。市場独占に目を光らせるバイデン政権と民主党主導の米議会のもとで統合を目指そうとすれば、大規模な事業整理や資産売却を迫られる公算が大きい。

米石油業界の主な再編	
1911年	米スタンダード・オイルが34社に分割
84年	米ソーカルが米ガルフ石油と合併しシェブロンに改称
98年	英BPが米アモコと合併
99年	米エクソンと米モービルが合併
2001年	シェブロンが米テキサコを買収
18年	BPが豪英BHPピリトンの米シェール事業買収
20年	シェブロンが米シェール大手ノーブル・エナジー買収





LNG 日本へ初輸出

タイ石油公社 中国・韓国に拡大へ

【バンコク＝村松洋兵】タイ国営のタイ石油公社（PTT）が火力発電の燃料となる液化天然ガス（LNG）を初めて日本に輸出したことが4日、分かった。他国から輸入したLNGを再輸出した形だ。日本は冬季でエネルギー需給が逼迫する一方、東南アジアのタイは比較的余裕がある。PTTは北東アジアの中国や韓国、台湾などに輸出先を広げる考えだ。

PTTがタイ中部を持つLNG基地から輸出した。第1弾となる運搬船は1月下旬に出航し、2月初旬に日本に到着したもようだ。出荷先は明らかではないが日本のエネルギー大手とみられる。積み荷のLNG約14万5000立方メートルをすべて火力発電に使用した場合、

一般家庭5000万世帯が1日に使用する電力量を発電できる。PTTは国内で自らガスを生産する一方、LNGをマレーシアやカタールから主に長期契約で輸入している。タイは北東アジアとは異なり冬季の暖房需要が無く、新型コロナウイルスの影響で工業用の需要も落ちている。エネルギー需給に比較的小さいため、調整の余地がある。タイは現在、主に国産ガスで発電を賄っているが将来の電力需要増加を見込みLNGの輸入を増やす計画を立てている。現状では調達コストが国産ガスより高いLNGの割合が増えれば、電気料金上昇につながる懸念がある。余剰のLNGを適正価格で売却できれば発電コストを抑制できる。